

【はじめに】

本資料は、連動先の遮断スイッチ設定確認とジャンパーピンの設定を行うための準備として記入するものです。現場の仕様に準じて本資料に記載してください。また、設定後は、本記録用紙を大切に保管してください。リニューアルや基板交換時に設定した内容の確認が必要となります。なお、本受信機を使用するにはジャンパーピンの設定以外にデータベースの設定も必要です。（TM10854「FCPJ203-R-10L型 機能設定表」を参照）

【ジャンパー設定の記載方法】
(例) JPI-の設定：設定の場合

JPI-

【移報接点の構成】

- 移報接点の標準装備はF1～F10（PSU基板）です。
- F5はトランスファ接点、F1～F4は独立したコモンのメーク接点です。
- ステータス連動で「異常代表」または「主電源断」にした場合、正常時にリレーがオン状態となり、C-A端子間が導通します。異常時にオン信号が必要な場合は、F5（C接点）のC-B端子間を使用してください。

【地区音響の使用仕方】

- BKC-BKF端子は一齐鳴動時に使用できます。
- 区分鳴動とする場合、F接点を使用し地区音響有電圧移報用のジャンパーピンJPF1、地区音響一齐鳴動用のジャンパーピンJPA1を設定してください。F6～F10を地区音響（有電圧）として使えます。（F1～F5は無電圧限定）
- 本機の地区音響回線は、鳴動時マイナスコモン（BKC）です。

【諸表示（LX）の電源について】

- 諸表示（LX）を受信機電源（I±）から供給する場合、ジャンパーピンJPI-を設定することで、I-とLXCの渡り配線は不要になります。

1. 遮断スイッチ設定表 （機能設定表TM10854の2項 オプションスイッチの設定と6項 移報出力回線設定の遮断スイッチ内容と同じものです）

スイッチ名称（標準）	スイッチ名称（変更時）	遮断する接点
非常放送遮断		
火災代表遮断		F接点（FA-FC）※固定
消火栓遮断		
防排煙遮断		

スイッチ名称（標準）	用途	スイッチ名称（変更時）	遮断する接点
OP1	遮断 / ノンロック / ロック		
OP2	遮断 / ノンロック / ロック		
OP3	遮断 / ノンロック / ロック		
OP4	遮断 / ノンロック / ロック		

2. 接点、ジャンパーピン構成図

■ 地区音響出火階直上階鳴動 ： JPF1、JPA1短絡 （F6～10を使用する場合）

■ 諸表示（LX）電源用 ： JPI-短絡（受信機電源を使用する場合）

